

春から初夏の 藤倉英幸展

田園散策 Part 2

あの道の曲がり角まで……。あの林まで……。歩く。
歩く。脇道を行ってみる……。カメラを構える。
大きな空の表情。足もとの野の花。家々のたたずまい。
そうなのだ。私は一枚の絵を探しているのだ。藤倉英幸



藤倉英幸《風あそぶ》2014年 はり絵 当館蔵



藤倉英幸《丘をわたる風》2019年 はり絵 当館蔵



藤倉英幸《浅い春》2016年 はり絵 当館蔵

有島武郎没後100年記念事業

2023 4/22(土)日 ~ 7/9(日)日

開館時間/9:00~17:00(最終入場16:30)

休館日/月曜休館(ただし休日の場合は翌日休)

常設展観覧料のみで鑑賞できます

一般500円(400円)/高校生100円

中学生以下と65歳以上のニセコ町民は無料

※()は10名以上の団体料金

主催/有島記念館

ニセコ・有島記念館

NISEKO, ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM
〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地 Tel 0136-44-3245





藤倉英幸《風あそぶ》2014年 はり絵 当館蔵

イラストレーター・藤倉英幸は、JR北海道車内誌表紙絵を20年以上にわたって担当するほか、その作品は商品パッケージなどを通して北海道民に広く親しまれています。藤倉は1980年代後半から、北海道の風景が持つ四季折々の魅力や空気感を洋紙を用いたはり絵作品で情感豊かに表現し、見る者を魅了してきました。

本展では、藤倉が北海道各地の四季折々の田園風景を描いた作品をご紹介します。藤倉が描く北海道の風景作品には、観光絵はがきのな場所とは一味違った「普段着姿の北海道」が描かれています。どこか懐かしさや温かみを感じるその作品からは、北海道に住む方にとっては自らの住む土地の魅力を再発見できる、また北海道外から訪れた方には北海道の魅力を発見できる契機となるのではないのでしょうか。ぜひ藤倉の作品を通して北海道の風景の美しさをご堪能ください。

春から初夏の
藤倉英幸展

田園散策

Part 2



藤倉英幸《野道》2008年 はり絵 当館蔵



藤倉 英幸

1948年、北海道後志管内島野村(現・岩内町)生まれ。1974年にイラストレーターとして独立し、ポスター、パッケージ、装丁など商業デザインを幅広く手がける。1980年代に入ると、北海道の風景や人々の生活に目を向けた「切り絵」作品を発表。80年代後半からは「はり絵」による風景画を本格的に描きはじめ、自身のライフワークとする。その作品は、JR北海道車内誌表紙絵をはじめ、菓子や牛乳パッケージなどで広く親しまれている。『静かな風を聴きながら』(2013年、共同文化社)など画集多数。2017年にはり絵原画やポスターなどの印刷物約1万点をニセコ・有島記念館に寄贈。夏と冬に同館で定期展覧会を開催。



藤倉英幸《秋の道すがら》2010年 はり絵 当館蔵

[交通アクセス] 自家用車 ー 札幌、新千歳空港より自家用車で約2時間
 J R ー ニセコ駅より徒歩約30分(約2.5km)、タクシー5分
 バ ス ー 道南バス[倶知安駅発]「有島記念館前」下車徒歩5分
 [駐 車 場] 自家用車用約30台・大型バス用約15台完備

ニセコ・有島記念館

NISEKO, ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM
 〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町宇有島57番地 Tel 0136-44-3245

